九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[023] 史淵表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/2340919

出版情報：史淵. 23, 1940-04-15. Faculty of Law and Letters of the Kyushu Imperial University
バージョン：
権利関係：

彙報

日野助教授御入隊につき壯行及歡送會

日野開三郎助教授、名譽の應召につき九州史學會主催の下に壯行會を左の通り擧行す。

一、期　日　二月四日（日曜日）
一、場　所　ブラジレイロ二階
一、出席者　重松先生、長沼先生、竹岡先生、鏡山先生（福岡聯隊入營中）小林先生以下多數。

尙、日野助教授の部隊名は、「松山二十二聯隊西島部隊森棟隊ノ一」である。（中江）

國史學會

研究發表會

昭和十四年度第二回例會

一、期　日　十二月二十一日（木）午後三時半より
一、場　所　第四演習室
一、發表者、題目及び內容梗概

幕末に於ける征韓論

學生　岩田辰雄

我が隣交情誼國なるが故に朝鮮はかつて江戸參向を許されてゐた、文化度に至つて對馬行禮を强ひられたのも隣交情誼國なるが故であり、安政以降歐米に比して遜色ある取扱をうけたのも亦隣交情誼國なるからであつた。而して我が幕府は隣交情誼の根本なる誠意外交を全然忘却せず時代に應じ、朝鮮取扱を改めんとする意向を有してゐたのであつた。しかしながら我が國內に於ては朝鮮國に對する幕府の態度を非難する者あり、或は歐米拮抗の爲に日淸韓の三國同盟を主張する者あり、又は國威發揚の爲に征淸征韓を唱へる者等があつた。かゝる叫が幕府の朝鮮取扱に當然影響する所があつた。尊王開國に立脚せる外征論佐幕開國に立脚せる外征論、或は必要に應じて朝鮮國に于戈を動かさんとする三國同盟、之等諸論何れも幕府の政策に作用するものはあつたであらう。文久・慶應年間、朝鮮が歐米の威壓を受けんとするや、朝鮮に對して幕府は種々の見地から拱手傍觀する事が出來なかつたのである。幕末に於て、擧國的な大事業を計畫するには幕府は餘りにも無力であつた。又封建制度下に於て外征はその効期待さるべくもなく、且舊例に倣ひ微薄宗氏が朝鮮國取扱の大折衝に立つことは時勢が既に許さなかつたのであつた。

幕末に於ける征韓論は要するに論のみに終り征韓策を生ずる

に至らなかつたのであるが、江戸幕府がその瓦解時に當り抱いた朝鮮政策の其の理想は明治政府に認容されて時の至るのを待つてゐたのであつた。

昭和十五年度第一回例會

一、期　日　一月二十五日（木）午後三時半より
一、場　所　第四演習室
一、發表者、題目及び内容梗概

兼好に於ける無常觀の論理

學生　田村圓澄

徒然草に現はれたる兼好の無常觀に就て、求道的なるものと趣味的なるものとの二面性を豫想するのが一般の見解である。然し彼の無常觀を仔細に考察する時、兼好自身には無意識的だつたにしろ、とに角吾々はそこに一つの體系を見出すことが出來る。即ち

（一）生死の到來を忘れる。
（二）無常を恐れ、無常を悲しむ。
（三）生死の相にあづからず。

この三段階はそれ自身辨證法的展開をなしてゐるのであつて最初素朴的な生そのものが無常苦によつて否定せられて、生死の到來を恐れ悲しむ生が現れ、更にその否定に於て變化の理を知り「道をたのしぶ」生が現れるのである。

無常觀が兼好にはたらき掛ける契機は絶對自己否定であるが、このことは兼好をして、法然よりはむしろ道元を髣髴せしめる。法然に於ては罪業の自識によりて自己が否定せられてゐるに對し、道元に於ては無常觀の身證がすべてを解決してゐるからである。

兼好の無常觀に於て、悲哀感としての無常觀と實相觀としての無常觀の二つを區別し、徒然草の最初の約三十段は、平家物語・方丈記と同樣、悲哀感としての無常觀にもとづくものであるとし、それ以後を、それの發展たる實相觀としての無常觀であるとする見解があるが、併し若し兼好に於ける無常觀の實踐的意義が顧られるならば、即ち生死の相にあづからずして無常を受けとつてゐる兼好を考へるならば、無常に流されつつ無常を悲しむ平家物語・方丈記とは、その態度に於て根本的な相違のあることが明かになるであらう。

しかし兼好の思想は無常觀によつてのみ解明されるものではなく、彼の趣味論・人間論などを考慮することにより、始めて具體的な理解にまで到達すると思はれる。

日本精神の研究法について

副手　中井虎一

日本精神とは日本民族の本質的特徴である。民族の概念が精神的文化的統一を、その本質的規定として成立し、而して事物の類型なるものが、そのものの本質的特徴に基いて成立する故

に日本精神は日本文化の類型的特徴の存在根據であり、後者は前者の認識根據である。

日本民族の遵守すべき「規範」としての日本精神に關する教說も、それが主觀的臆說に非ざる以上、前述の意味に於ける「存在」としての日本精神に關する認識に基かねばならぬが、併し直ちに之より派生さるべきものでもない。それは其の他に一方に於ては結局形而上學的根據に迄遡るべき普遍妥當的理想の認識と、他方に於ては現實的世界的事態の布置に關する認識を豫想して始めて可能なるものである。

「存在」としての日本精神の研究法は集積的統計的方法と、歷史的文化的方法に大別される。前者は各日本人の心理的特性の集積によつて日本精神一般を構成せんとする企であつて、實行困難なるのみならず、斯くして得られたるものは抽象的皮相的となる怖がある。後者は日本精神の認識根據たる日本文化を手掛りとして日本精神を發見せんとする方法であるが、此の方法の妥當性の確率は三分の一である。蓋し文化の特質は民族性のみの結果ではなく、一方に於ては模倣傳播の結果であり、他方其の文化が文化發達の普遍的段階序列に於ける特定段階に位する事の結果でもあり得るからである。此の方法は更に形式的と內容的の二種に區分せられる。即ち前者は日本文化の特質をその內容に於て認めず、單にその外來文化の結合の樣式の特性に於て認めんとするものであり、後者は第一、外來文化の影響を蒙らざる最古代の文化を手掛りとする方法、第二他民族に於て見るを得ざるが如き特殊的固有文化、例へば我が國家組織の如きを手掛りとする方法、第三日本文化に於ける原始的心理の殘存に着眼して日本精神を理解せんとする方法の三種に分たれる。マクス・シエラーは宇宙的一體感の機能の特性に基いて西洋的エトスと東洋のそれとを區別して居るが、日本精神の研究に於ても斯くの如き第三の方法があり得ると思ふ。此の際原始的と云ふ語が未發達なるが故に價値的に劣等なりとの含意を有せざる事を注意すべきである。原始的則反價値的と云ふ常識的見解は嚴密なる批判の後に始めて學的領域に於て市民權を有し得るのである。

九州支那學會

九州支那學會の創立以來、長らく會の事務に與り會の發展の爲めに努力されし安倍道朗助手は本年一月母校大分縣宇佐中學校に轉任されたり。會の事務は今後、中江健三副手（支那學研究室）が取る事となれり。（中江）

昭和十四年度　史學科卒業論文題目

國史學專攻	
幕末に於ける征韓論	岩田辰雄
西洋史專攻	
ヒュームの史學に關する研究	大杉智惠子
東洋史專攻	
清末の團練鄉勇	本村正一